

岩手県企業短期経済観測調査結果（2022年12月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の66社
- 回答率100.0%（回答数66社、うち製造業24社、非製造業42社）
- 回答期間 11月10日～12月13日

1. 業況判断指数（DI）

業況判断指数（全産業）は「悪い」超であり、その幅は前回調査（2022年9月）比横這いとなった（前回▲12 → 今回▲12）。

業種別にみると、製造業では、コスト上昇分の販売価格への転嫁や経費削減による収益改善（鉄鋼、食料品）と、感染症の影響の緩和、医療機器ニーズの強まりを背景とした需要増加（食料品、業務用機械）などから、「悪い」超幅が縮小した（前回▲20 → 今回▲12）。一方、非製造業では、食材価格や光熱費の上昇（宿泊・飲食サービス）と公共工事量の縮小（物品賃貸）などから、「悪い」超幅が拡大した（前回▲7 → 今回▲12）。

先行きについて、製造業をみると、このところの海外資源価格の落ち着き（その他製造業）や自動車生産の回復への期待（輸送用機械）などを背景とする判断引き上げから、「悪い」超幅は縮小する見通し（今回▲12 → 先行き▲4）。一方、非製造業では、公共工事の競合激化と資材価格の上昇（建設、対事業所サービス）から、「悪い」超幅が拡大する見通し（今回▲12 → 先行き▲15）。この下で、全産業では「悪い」超幅が縮小する見通し（今回▲12 → 先行き▲10）。

—— 各種判断DI（参考1）をみると、「製商品・サービス需給判断DI」は「供給超過」超幅が幾分縮小した。「製商品在庫判断DI」は「過大」超幅が横這いとなった。「仕入価格判断DI」は、「上昇」超幅が拡大した。「販売価格判断DI」は、「上昇」超幅が縮小した。「生産・営業用設備判断DI」は、「不足」超が縮小し0となった。「雇用人員判断DI」は、「不足」超幅が拡大した。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	21/9月	12月	22/3月	6月	9月	12月	23/3月 (予測)
製造業	▲8	0	▲24	▲12	▲20	▲12 (▲12)	▲4
素材業種	▲25	▲12	▲38	▲37	▲50	▲43 (▲63)	▲43
加工業種	0	5	▲17	0	▲6	0 (11)	11
非製造業	▲13	▲18	▲21	▲19	▲7	▲12 (▲14)	▲15
全産業	▲11	▲11	▲22	▲17	▲12	▲12 (▲13)	▲10

2. 売上高・経常利益（2022年度計画）

2022年度の売上高は、製造業では、自動車の挽回生産や旺盛なデジタル関連需要などから増収の計画。非製造業では、感染症の影響の緩和（宿泊・飲食サービス）やコスト上昇を受けた販売価格の引き上げ（電気・ガス）などから小幅な増収の計画となり、全産業では+6.6%の増収を計画。

これを前回調査（9月）と比べると、販売価格の引き上げ（電気機械、卸売）などから、全産業で小幅な上方修正となった。

2022年度の経常利益は、製造業では、コスト上昇を背景に幅広い業種で減益となるものの、増収計画の電気機械、輸送用機械の寄与により、全体としては大幅な増益となる計画。非製造業でも、感染症の影響の緩和から宿泊・飲食サービス、運輸・郵便を中心に増益計画にあり、全産業では+5割方の増益計画。

これを前回調査（9月）と比べると、製造業では、一部先における販売価格の引き上げと財務リストラを主因に、大幅な上方修正となった。一方、非製造業では、コストの上昇（建設、小売）を背景に下方修正となった。全産業では、+3割方の上方修正となった。

—— 前年同期比・%、（ ）内は前回調査比修正率・%

	2021年度(実績)		2022年度(計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲16.4	▲27.0	14.7 (1.0)	7.8 (▲0.3)	21.5 (2.2)	60.7 (70.0)	▲13.3 (24.6)	2.8倍 (2.1倍)
非製造業	▲4.4	▲29.8	1.1 (0.4)	2.2 (0.2)	0.2 (0.5)	27.1 (▲9.6)	利益 (5.0倍)	4.8 (▲13.9)
全産業	▲9.6	▲28.1	6.6 (0.7)	4.5 (0.0)	8.4 (1.2)	47.6 (31.3)	10.2 (32.5)	65.8 (30.9)

3. 設備投資額（2022年度計画）

2022年度は、製造業では、電気機械、輸送用機械を中心とした能力増強投資から、前年度比2倍強の計画。非製造業でも、感染症の影響の緩和を受けた改装（宿泊・飲食サービス）などから前年度を上回り、全産業では前年度比+9割増の計画。

これを前回調査（9月）と比べると、投資内容の大きな変動はみられなかったものの、一部先における計画の精査の結果、製造業では上方修正、非製造業では下方修正となり、全産業では上方修正となった。

—— 前年同期比・%、（ ）内は前回調査比修正率・%

	設備投資 ※		ソフトウェア・研究開発を含む 設備投資（除く土地）	
	2021年度 （実績）	2022年度 （計画）	2021年度 （実績）	2022年度 （計画）
製造業	2.4倍	2.3倍 (40.8)	2.4倍	2.2倍 (42.2)
非製造業	4.4	6.9 (▲4.7)	7.2	5.5 (▲4.5)
全産業	70.3	91.6 (30.1)	73.3	83.4 (30.8)

※ 土地を含み、ソフトウェア投資、研究開発投資を含まない。

(参考1) 各種判断DIの推移

— 回答社数構成比、%ポイント、()内は前回予測

(1)需給・在庫・価格判断DI (全産業ベース)

		21/9月	12月	22/3月	6月	9月	12月	23/3月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」 — 「供給超過」	▲20	▲18	▲19	▲19	▲18	▲17 (▲18)	▲21
製商品在庫	「過大」— 「不足」	9	13	9	13	9	9 (—)	—
仕入価格	「上昇」— 「下落」	34	45	58	71	69	75 (77)	73
販売価格		0	13	15	31	39	29 (39)	33

(2)生産・営業用設備判断DI (「過剰」—「不足」)

		21/9月	12月	22/3月	6月	9月	12月	23/3月 (予測)
製 造 業		▲4	▲4	4	4	▲9	▲9 (▲13)	▲4
非 製 造 業		8	3	7	3	0	5 (2)	0
全 産 業		3	0	6	3	▲3	0 (▲3)	▲2

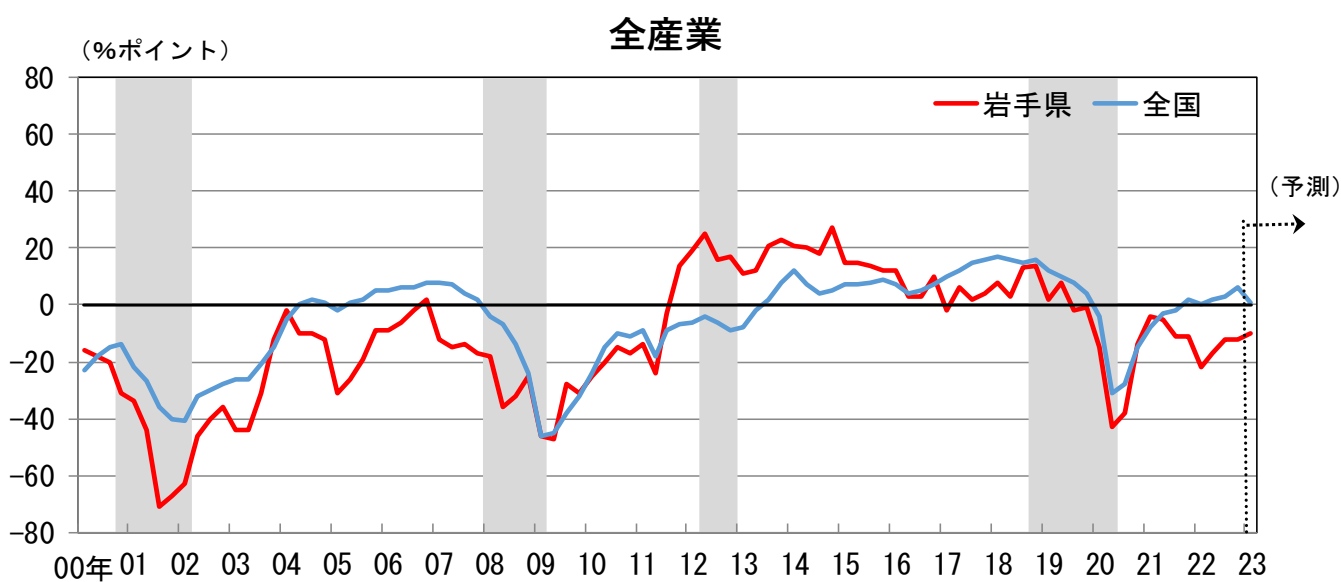
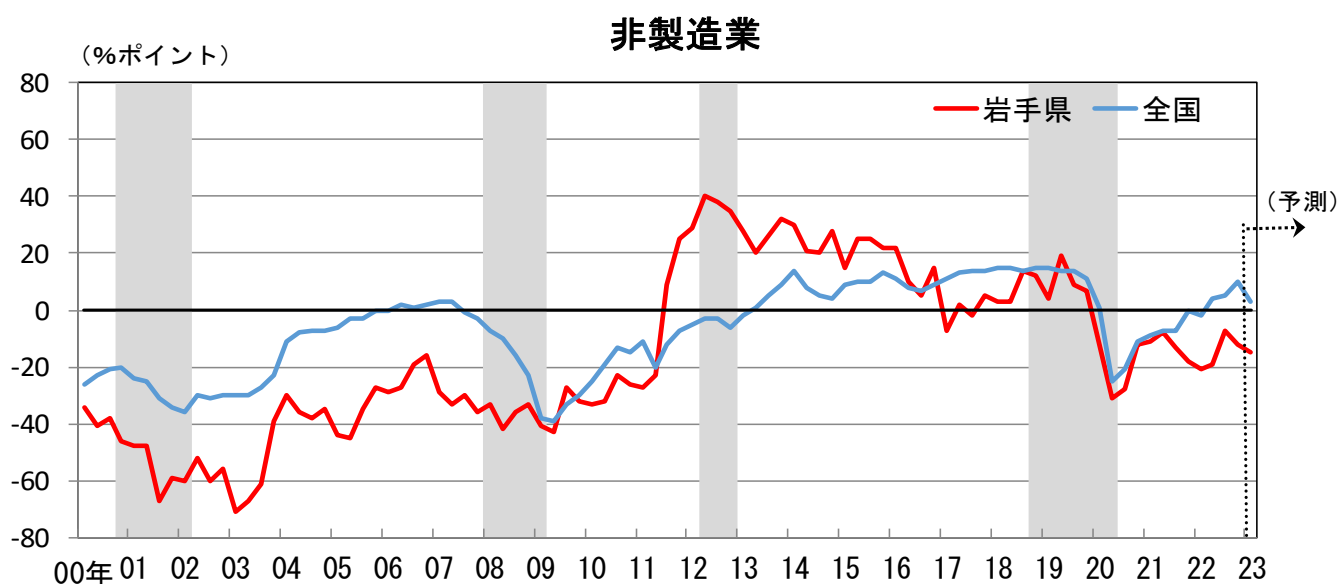
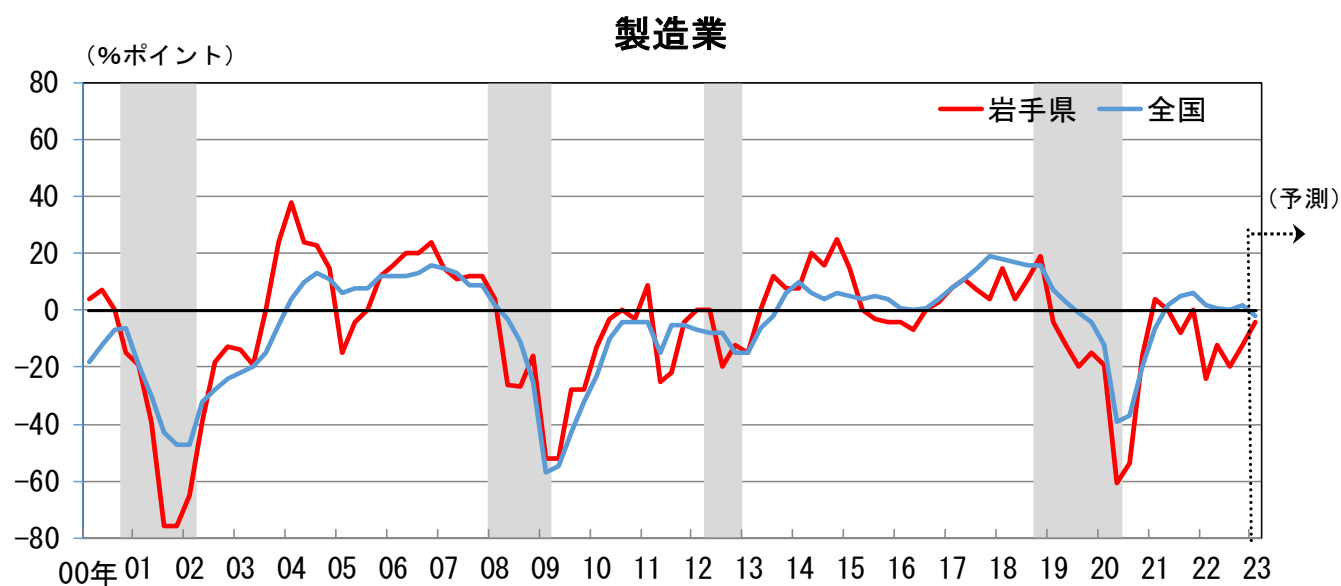
(3)雇用人員判断DI (「過剰」—「不足」)

		21/9月	12月	22/3月	6月	9月	12月	23/3月 (予測)
製 造 業		▲24	▲24	▲16	▲16	▲34	▲34 (▲38)	▲42
非 製 造 業		▲15	▲28	▲28	▲28	▲26	▲34 (▲31)	▲34
全 産 業		▲19	▲27	▲24	▲24	▲28	▲34 (▲33)	▲37

(4)企業金融関連判断DI (全産業ベース)

		21/9月	12月	22/3月	6月	9月	12月	23/3月 (予測)
資金繰り	「楽である」 — 「苦しい」	0	▲5	▲3	▲6	▲12	▲14 (—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」— 「厳しい」	10	12	6	6	6	2 (—)	—
借入金利 水準	「上昇」— 「低下」	▲1	▲2	▲5	▲2	0	0 (8)	8

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 全国及び岩手県の業況判断 DI の推移

() 内は前回予測

		21/9月	12月	22/3月	6月	9月	12月	23/3月 (予測)
製造業	全国	5	6	2	1	0	2 (▲1)	▲2
	岩手県	▲8	0	▲24	▲12	▲20	▲12 (▲12)	▲4
非製造業	全国	▲7	0	▲2	4	5	10 (1)	3
	岩手県	▲13	▲18	▲21	▲19	▲7	▲12 (▲14)	▲15
全産業	全国	▲2	2	0	2	3	6 (1)	1
	岩手県	▲11	▲11	▲22	▲17	▲12	▲12 (▲13)	▲10

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622 (代)

<ホームページ>

